

2023年9月期 業績の概況 (全社)

Performance

- 中期経営計画「単なるモノ売りビジネスからの脱却」実現に向け、前年度に初期版をリリースしたクラウドシステム“iMV cloud”の本格サービス提供を開始。海上機器への総合サポートサービス、バッテリー信頼性評価試験一括受注サービス(2024年4月～)など、機械装置販売の強化のみならず多様なビジネスモデルの構築を図った。
- 売上高は振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスの伸長によって増加、過去最高を更新
営業利益は部材や電力料金の高騰による利益が圧迫される一方で、増収効果、製造原価の低減等により大幅増
- 受注高実績及び受注残高は増加しており、来期は売上高14,000百万円(当期比1.9%増)、
営業利益1,350百万円(当期比6.5%増)の達成を目指す

(単位: 百万円)

	22/9期	23/9期	前年 同期比	24/9期 業績予想	
売上高	11,888	13,727	+15.5%	14,000	過去最高を更新
営業利益	825	1,266	+53.5%	1,350	増収効果、製造原価の低減等により大幅増
受注高	13,786	15,098	+9.5%	-	受注残高も含めて増加、売上伸長を見込む

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

6

IMV、FY23は増収増益

振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスの伸長が業績に寄与

提供：IMV株式会社 2023年9月期決算説明



IMV株式会社

7760・東証スタンダード・精密機器

フォロー

2023年11月27日に発表された、IMV株式会社2023年9月期決算説明の内容を書き起こしでお伝えします。

スピーカー

IMV株式会社 代表取締役社長 小嶋淳平 氏

提供

IMV株式会社

企業ホームページ

<https://we-are-imv.com>

2023年9月期 トピックス（海外販売の続伸）



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

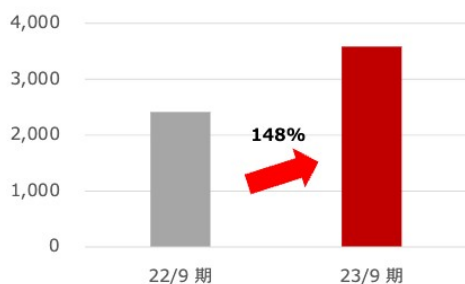
2023年9月期 トピックス（海外販売の続伸）

Topics

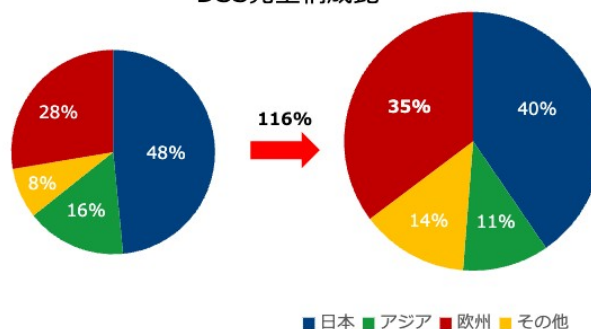
振動シミュレーションシステム（DSS）

- 22/9期に引き続き海外での販売が好調。DSS事業全体で前年同期比116%の売上
 - 特に欧州で売上が伸長、欧州での売上は前年同期比148%。今後も大型納品を予定
 - 大手自動車メーカー（欧州・社名非公表）への納品も行い、日本だけでなく欧州でもトップの売上を記録
- *他社との売上比較は当社独自調査による

DSS欧州売上高 (単位：百万円)



DSS売上構成比



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

4

小嶋淳平氏：本日は、IMV株式会社の決算説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。平素より多大なるご支援をいただいているみなさまにも、この場をお借りしてあらためてお礼申し上げます。

まずはトピックスです。2023年9月期は、ヨーロッパの売上が148パーセントと非常に伸びています。詳細は後ほどご説明します。

振動試験機の売上構成比は、日本が40パーセント、欧州が35パーセントです。日本の売上にはサービスが入っているため、単純な物売りとしてはヨーロッパのほうが日本よりも多い状態です。

2023年9月期 トピックス（重点取組）



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

2023年9月期 トピックス（重点取組）

Topics

研究開発



22/9月に初期版をリリースした“iMV cloud”の本格的なサービス提供を開始。
トヨタ自動車様のセキュリティ診断もパスし、ユーザー増加や受託試験場ユーザーへのサービス提供など、さらなる進化を計画。

防災事業



MEMS静電容量型振動センサーを採用した地震計2モデルを発売。製品性能や管理負荷の軽減に加え、低コストなSW-5033と従来通りの性能を持つSW-7033を選択できることで、より広い対象で地震計導入の可能性。

グローバル



市場開拓を進める米国市場にサービスセンターを開設。
高い専門知識を持ったスタッフによる迅速で確かなサービス提供体制の構築を図り、新たな顧客開拓を進め事業拡大を目指す。

船舶認証



海上機器における試験並びに認証取得のサポートをe-TCJ（日本高度信頼性評価試験センター）で開始。船に関わる機器の重要度や法規制、協会の要求などを包括した試験に対応し、お客様のお問い合わせ先を一本化。

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

5

2023年9月期のトピックス（重点取組）についてご説明します。研究開発は、数年来お伝えしているとおり、「iMV cloud」で試験機をネットワーク化しており、新たなサービス提供をしていきたいと考えています。

防災事業にも非常に力を入れています。長らく地震計を作っていますが、こちらを拡張し、豊富なラインナップを取りそろえていきます。また、地震計にとらわれない防災事業全般として考えていく、というコンセプトで取り組んでいます。新製品に関する取り組みについては、後ほどご説明します。

グローバル化は、先ほどヨーロッパの売上についてお伝えしましたが、アメリカも重点取組として取り組んでおり、非常に高い伸びを示しています。

当社はもともと、試験を受託するテストラボビジネスを行っていました。今回は、「テスト」という枠組みにとらわれることなく、その先にある認証といったものもビジネスの範疇になると考えて、手始めに船舶認証取得のサポートを始めています。こちらについても後ほどご説明します。

このように新しいことに取り組んでいく機運を社内で醸成しています。

2023年9月期 業績の概況（全社）



2023年9月期 業績の概況（全社）

Performance

- 中期経営計画「単なるモノ売りビジネスからの脱却」実現に向け、前年度に初期版をリリースしたクラウドシステム“iMV cloud”の本格サービス提供を開始。海上機器への総合サポートサービス、バッテリー信頼性評価試験一括受注サービス(2024年4月～)など、機械装置販売の強化のみならず多様なビジネスモデルの構築を図った。
- 売上高は振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスの伸長によって増加、過去最高を更新
営業利益は部材や電力料金の高騰による利益が圧迫される一方で、増収効果、製造原価の低減等により大幅増
- 受注高実績及び受注残高は増加しており、来期は売上高14,000百万円(当期比1.9%増)、
営業利益1,350百万円(当期比6.5%増)の達成を目指す

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	前年 同期比	24/9期 業績予想	
売上高	11,888	13,727	+15.5%	14,000	過去最高を更新
営業利益	825	1,266	+53.5%	1,350	増収効果、製造原価の低減等により大幅増
受注高	13,786	15,098	+9.5%	-	受注残高も含めて増加、売上伸長を見込む

業績の概況です。売上高は前年同期比プラス15.5パーセントの137億2,700万円となりました。こちらは、過去最高の売上を更新しています。営業利益は前年同期比プラス53.5パーセントの12億6,600万円と、伸びています。受注高も過去最高で、前年同期比プラス9.5パーセントの150億9,800万円となっています。

要因はスライドに記載のとおり、すべての事業が好調で、売上を伸ばすことができました。進行期は、売上高が当期比プラス1.9パーセントの140億円、営業利益が当期比プラス6.5パーセントの13億5,000万円と予想しています。

2023年9月期 業績の概況 (事業別)



2023年9月期 業績の概況 (事業別)

Performance

- **振動シミュレーションシステム (DSS)**
海外市場は欧州・米国で電気自動車向け大型案件に恵まれ前年同期を上回る。また、サービス部門においても需要が増加
国内市場は前期に比べ景況感が上向きになり、設備投資需要に回復の兆しが見え、受注と売上は増加傾向で推移
- **テスト&ソリューションサービス (TSS)**
車載用バッテリーを中心に電気自動車関連や発電所関連の振動試験が堅調に推移
日本高度信頼性評価試験センター (e-TC) におけるEMC試験 (Electromagnetic Compatibility) や環境試験も伸長
- **メジャリングシステム (MES)**
地震監視装置における電子部品や半導体の部品調達難の影響を受けたものの、振動計や監視装置の売上高が伸長

(単位: 百万円)

	22/9期	23/9期	前年 同期比	
振動シミュレーションシステム (DSS)	8,791	10,174	+15.7%	海外市場とサービス部門の伸長、国内需要回復傾向により増加
テスト&ソリューションサービス (TSS)	2,237	2,538	+13.5%	電気自動車関連や発電所関連の振動試験が堅調 EMC試験や環境試験も伸長
メジャリングシステム (MES)	860	1,014	+17.9%	調達難の影響がありつつも、振動計や監視装置の売上高が伸長

事業別の業績の概況です。先ほど、すべての事業が好調だったとお伝えしましたが、振動試験機を主に扱っている振動シミュレーションシステム (DSS) が牽引しました。かつて会社として売上高100億円を目標としていましたが、一事業であるDSS事業がそれを超えるレベルにまで達し、感慨深いものがあります。

テスト&ソリューションサービス (TSS) の売上高は25億3,800万円です。テスト&ソリューションサービス (TSS) では、電気自動車関連や発電所関連、EMC試験 (Electromagnetic Compatibility) など、新しい取り組みを行っていますが、これらが非常に好調で、過去最高の売上です。

メジャリングシステム (MES) は前年同期比プラス17.9パーセントの10億1,400万円となっていますが、過去5年間で見ると売上高10億円程度は達成していた水準であるため、今後伸ばしていきたいと考えています。

決算概要（連結）①



決算概要（連結）①

Performance

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	前年同期比	コメント
売上高	11,888	13,727	+1,839	●売上高はDSS事業及びTSS事業の伸長により増加
営業利益	825	1,266	+441	●営業利益は増収効果に加えて販売管理費が低く抑えられていたことから大幅に増加
経常利益	1,237	1,574	+336	●前年度に計上していた為替差益や投資有価証券売却益等の営業外収益・特別利益が減額したものの、増収効果等により当期純利益（親会社帰属）は増加
当期純利益（親会社株主帰属）	1,065	1,126	+60	
1株当たり当期純利益	65.42	69.11	-	
売上高営業利益率	6.9%	9.2%	+2.3%	

決算概要です。経常利益が過去最高の15億円7,400万円となっています。営業利益と経常利益を比べて経常利益のほうが非常に大きいですが、こちらは海外子会社における会計の為替の換算替えですので、実績には関係ありません。当期純利益は11億2,600万円です。

先ほどお伝えしたとおり、来期は売上高140億円、営業利益13億5,000万円と、社内的には成長していくイメージを持っていますが、「今期は減益ですね」という指摘を受けました。当社としては、伸びていると考えていますが、為替の換算替えを一切入れていないため、一部そのように見えがちかもしれません。しかし、社内的には成長を続けていくイメージを持っています。

決算概要（連結）②



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

決算概要（連結）②

Performance

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	前年同期比	コメント
営業キャッシュ・フロー	742	103	△639	●主に売上債権が959百万円増加したことを受け、 営業キャッシュ・フロー増加額は前年同期比で減少 したものの、プラスを維持
フリー・キャッシュ・フロー	553	△225	△778	
現金及び現金同等物残高	3,273	1,908	△1,365	●長期借入金1,115百万円返済のため保有現金は減少
自己資本	8,275	9,243	+967	●利益剰余金の増加により自己資本が増加
自己資本比率	48.8%	53.5%	+4.7%	●有利子負債削減も進めた結果、自己資本比率50%超へ

キャッシュ・フローです。今回は大型の試験機が増え、売上債権が増えています。スライドには記載していませんが、一部の棚卸資産が増加しており、現在の課題だと考えています。また、長期借入金の返済を進めてきたため、このような数字になっています。

利益剰余金も増加し、借入の返済も進んでいるため、自己資本比率は50パーセントを超過し、53.5パーセントとなっています。

決算概要（連結）③



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

決算概要（連結）③

Performance

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	前年同期比	コメント
設備投資額	417	393	△24	●設備投資額は主に試験機類の更新によるもの
減価償却費	574	546	△27	●研究開発費は前年度に“iMV cloud”リリースにかかる計上があったため、今年度は減少
研究開発費	774	703	△70	●獲得した利益を安定的に株主に還元すると共に、株主及び機関投資家との対話を通じてIR活動の充実を図る
期末株価（円）	432	506	+74	
期末時価総額（自己株式を除く）	7,039	8,246	+1,208	

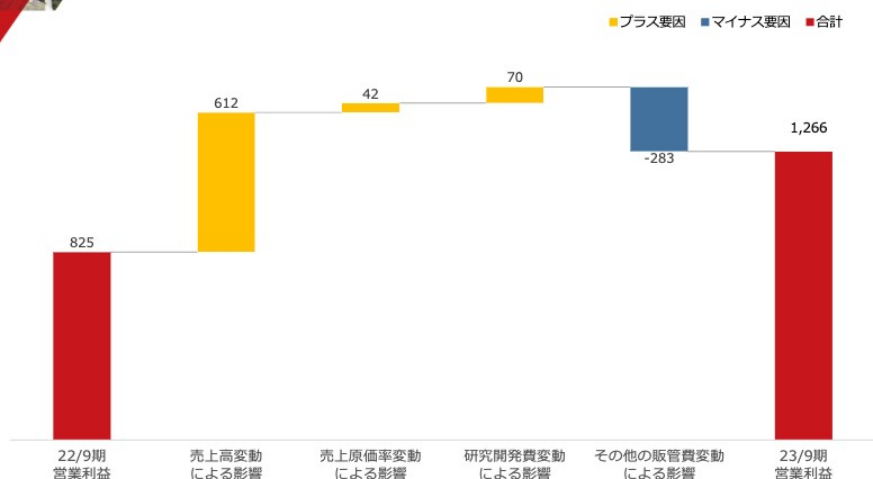
連結決算概要です。設備投資と減価償却費が2022年9月期に対して減少しています。しかし、設備投資に関しては、進行期にいろいろと進めているため増えます。同様に、減価償却費も増える見込みです。

営業利益増減要因



営業利益増減要因

Performance



22/9期 営業利益	825
売上高変動による影響	+612
売上原価率変動による影響	+42
研究開発費変動による影響	+70
その他の販管費変動による影響	△283
23/9期 営業利益	1,266

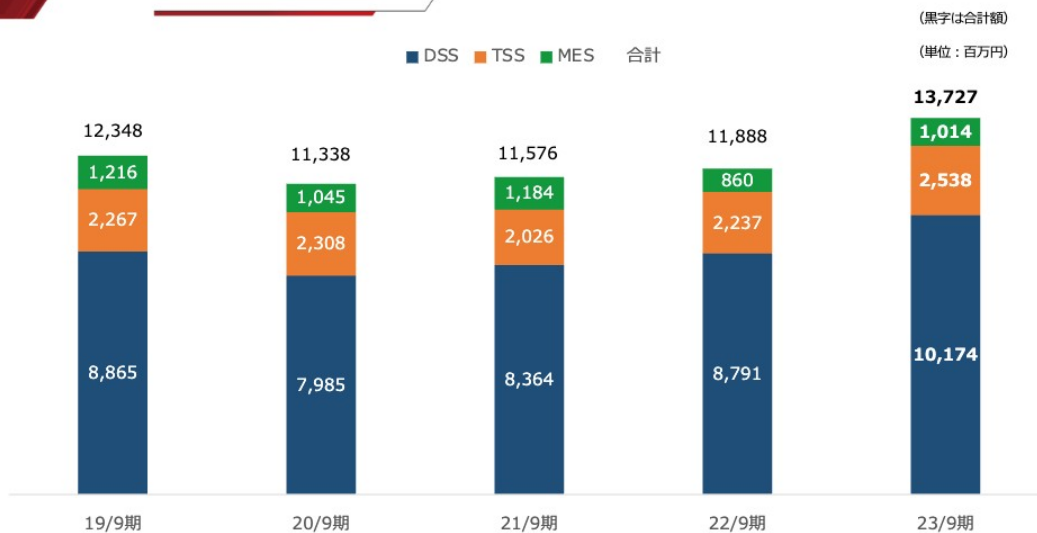
営業利益増減要因についてです。売上高が上がった分、経費も上がり、一部相殺されていますが、全体としては利益が大きく伸びています。

事業別 売上高推移



事業別 売上高推移

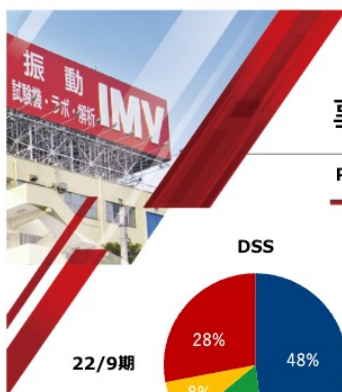
Performance



過去5年分の事業別の売上高推移です。先ほどもお伝えしたとおり、新型コロナウイルス流行前は、振動試験機をメインにするDSSは88億円ありました。新型コロナウイルスの影響で一部落ち込んでいましたが、徐々に回復し、今期初めて100億円を突破しました。

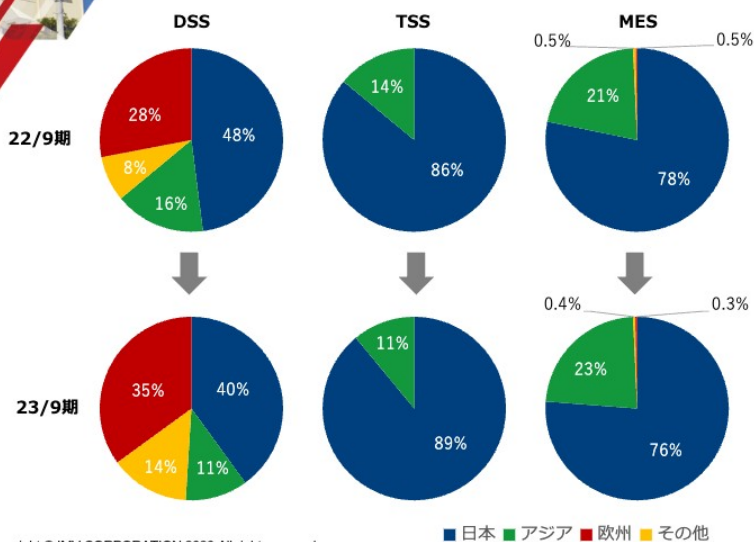
TSSも同様に、過去に売上高23億円までは届いていましたが、今回は初めて25億円を突破しました。MESは売上高10億円と、前年同期比では増えていますが、過去のトレンドを見ると12億円くらいは達成していました。進行期は13億円を目指していますが、今後はこの水準になっていきたいと考えています。

事業別 地域別 売上構成比・売上高

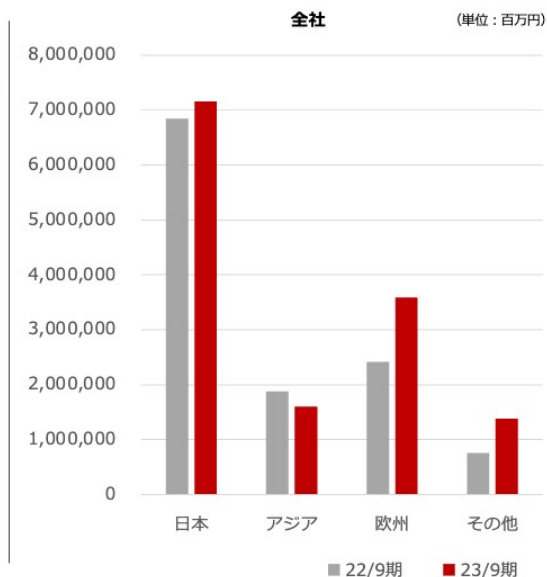


事業別 地域別 売上構成比・売上高

Performance



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.



13

地域別の売上構成比・売上高です。スライドのグラフで示しているとおおり、日本は多いのですが、次いで欧州・アジアとなっています。

その他は、ほぼアメリカです。一部違う地域もありますが、アメリカが多数を占めています。後ほどご説明しますが、非常に成長しているエリアです。

資産の状況 ①



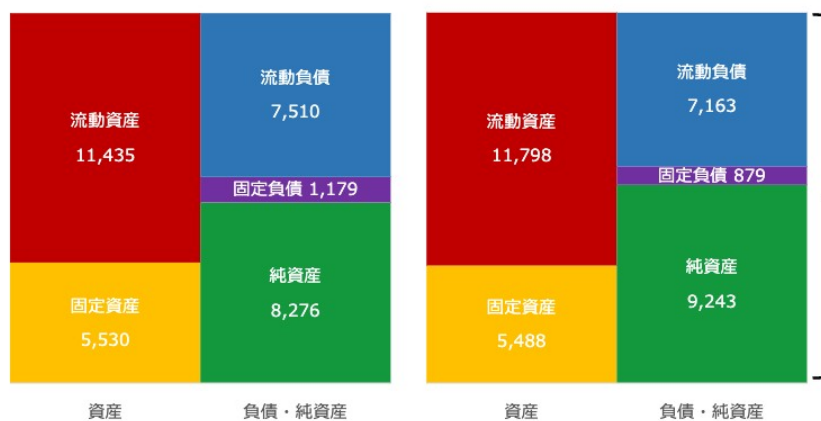
資産の状況 ①

Asset

(単位：百万円)

22/9期

23/9期



自己資本比率
22/9期 48.8%
23/9期 53.5%
(+4.7%)

資産の状況です。スライドをご覧のとおり、自己資本比率が増えてきています。

資産の状況 ②



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

資産の状況 ②

Asset

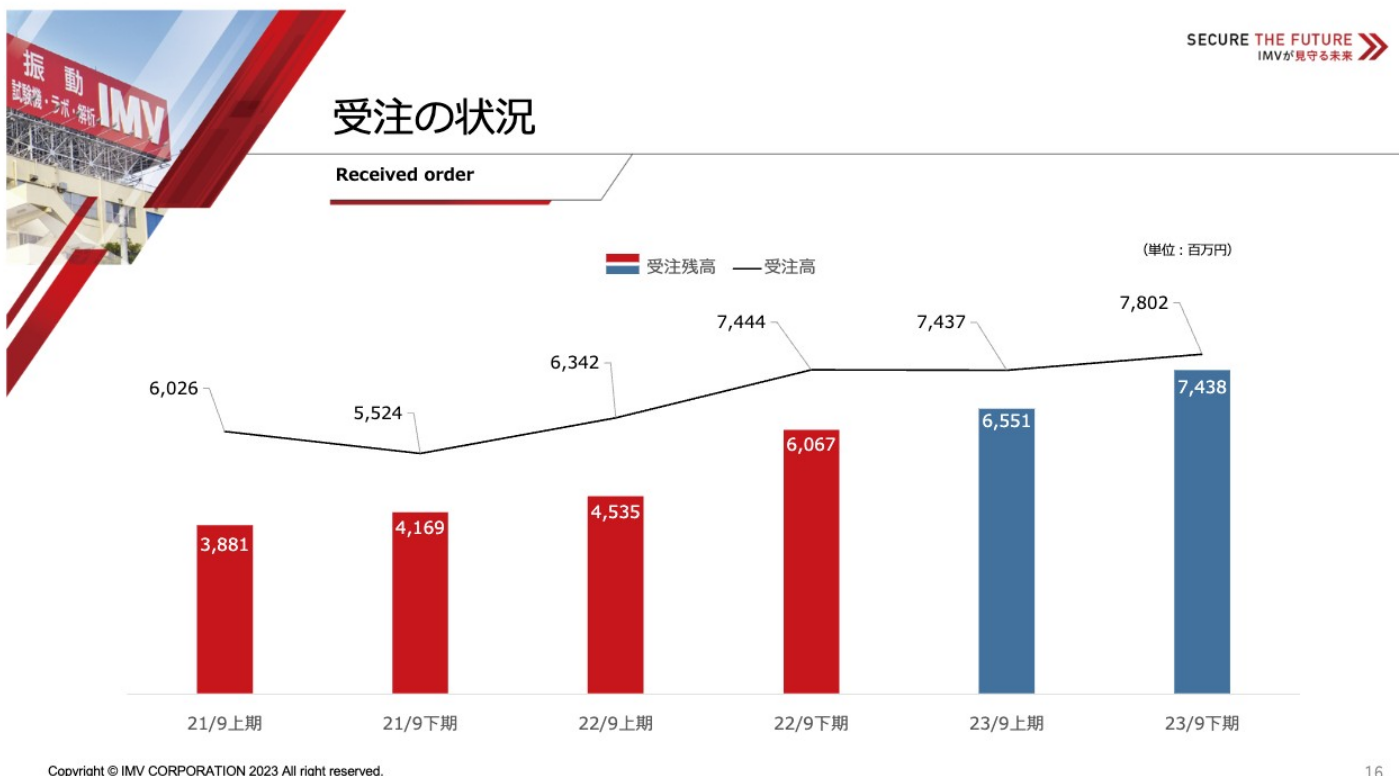
(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	増減
当座資産	7,656	7,411	△245
その他の流動資産	3,778	4,386	+608
流動資産計	11,435	11,798	+363
有形固定資産	4,879	4,793	△85
無形固定資産	86	110	+24
投資その他の資産	565	585	+20
固定資産計	5,530	5,488	△41
資産合計	16,964	17,286	+322

	22/9期	23/9期	増減
流動負債	7,510	7,163	△346
固定負債	1,179	879	△299
負債計	8,689	8,042	△645
自己資本計	8,275	9,243	+967
純資産合計	8,275	9,243	+967
負債純資産合計	16,964	17,286	+322

各種資産の状況は、流動資産が増えて負債が減少しています。借入金も減らしている状況です。我々が理想とするバランスに近づいてきていると思っています。

受注の状況



受注の状況です。先ほど150億円を超えたとお伝えしましたが、上期と下期に分けて記載しています。過去の推移から見ると、上期・下期ともに、前年・前々年を上回ってきています。こちらのトレンドは、進行期も大きく変更はありません。

業績の見通し（連結）

業績の見通し（連結）

Outlook

(単位：百万円)

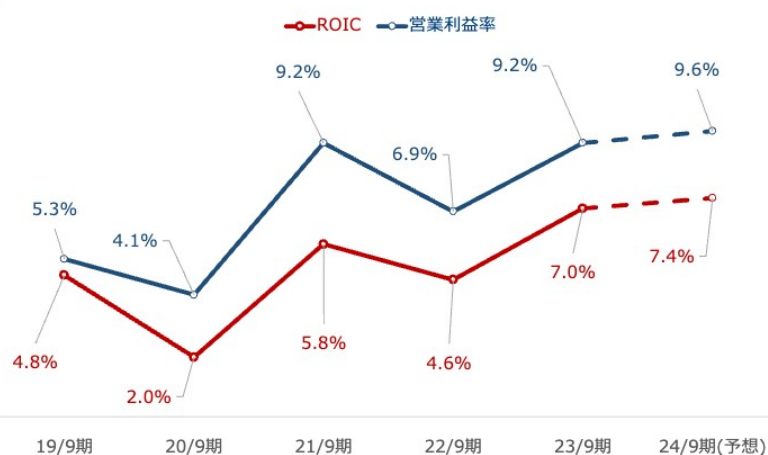
	23/9期実績	24/9期予想	前年度比	コメント
売上高	13,727	14,000	+1.0%	●受注残高が増加していることから 来期売上は140億円の予想
営業利益	1,267	1,350	+6.5%	
経常利益	1,574	1,350	△14.3%	●為替差益や投資有価証券売却益を 想定しないことなどから経常利益は 減少する見込
当期純利益（親会社株主帰属）	1,126	939	△16.6%	
売上高営業利益率	9.2%	9.6%	+0.4%	
1株当たり当期純利益	69.14	58.33	-	
1株当たり配当金（円）	12.0	12.0	-	

業績の見通しです。先ほどお伝えしたとおり、進行期は売上高140億円、営業利益13.5億円を目指しています。また、後ほどご説明しますが、営業利益率を重要な経営指標の1つとしており、2023年3月期が9.2パーセント、進行期は9.6パーセントを目指しています。

営業利益率及び投下資本利益率（ROIC）の推移

営業利益率及び投下資本利益率（ROIC）の推移

Operating profit / ROIC



- 19/9～20/9期は国内施設及び海外子会社向けの積極投資に伴う固定費の増加が先行した結果、営業利益率、ROIC共に低下傾向
- 23/9期の営業利益率は増収効果に加え、継続的な費用低減活動により9.2%へ向上
- 24/9期のROICは増収効果、2023年11月に決定・公表した自己株式の取得を実行することで上昇見込
- 効率的な資本投入により収益性の向上に努めるとともに、資本効率のさらなる向上を目指す

営業利益率及び投下資本利益率（ROIC）の推移です。進行期の営業利益率は9.6パーセント、ROICは7.4パーセントと考えています。

いろいろな考え方があると思いますが、当社はROICも重要な経営指標にしていこうと考えています。先日も発表しましたが、自己株の取得などによって、ROICもしっかりと上げていきたいと考えています。

配当金及び株主資本配当率（DOE）の推移



配当金及び株主資本配当率（DOE）の推移

Dividend / DOE



- 》 23/9期の1株当たり配当金は10円から**12円へ増配**
- 》 安定的かつ継続して配当を実施することを基本方針とし、1株あたり配当金を安定的にすることで株主への還元を重視
- 》 DOEなど、資本効率を考慮した株主還元を実施するため24/9期には自己株買いを実行(2023年11月決議・公表)

配当額	19/9期	20/9期	21/9期	22/9期	23/9期	24/9期予
	130	138	138	162	195	- (百万円)

今期は12円配当と発表しています。配当性向もみているのですが、総還元性向も含めて今後考えていきたいと思っており、自己株の取得はその一環でもあります。

2023年9月期の総括

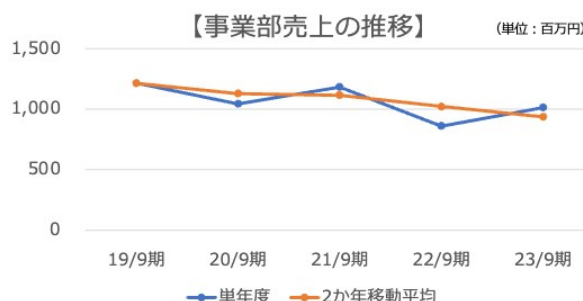
Measuring
Systems
メジャリングシステム

2023年9月期の総括

概要 (◎は達成、●は未達)

- ◎ 前期に不振だった振動計・監視計は今期に回復
- ◎ 防災BU (BU=ビジネスユニット) も今期の計画達成
- 予知保全BUおよび試験事業が大幅未達
- 過去のトレンドをブレークスルーする原動力と位置付けるM&Aが途上
- 中期経営計画で決めた通りM&Aを軸として来期にブレークスルーを図る

製品群	計画達成率
振動計・監視計	110%
試験事業	26%
防災BU	109%
予知保全BU	10%
その他	29%
	87%



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

22

ここからは、各種の取り組みについてご説明します。

まずはMESです。2023年9月期は基本的に好調でしたが、振動計や監視計などの昔からの商品が復調しました。地震計も部品が届かないなどいろいろありましたが、解消されつつあり、伸びてきました。

予知保全にも軸足を広げていこうと思っておりますが、まだこれからといった段階で、今回も計画に対して未達でした。

防災にも非常に力を入れていきたいと思っております。スライドにも記載していますが、ブレークスルーの原動力としてのM&Aも考えていきます。

防災BU（BU=ビジネスユニット）の発足



防災BU（BU=ビジネスユニット）の発足

》 地震計事業から防災事業へのドメイン拡大を図る為**防災BU**を昨期に発足

【企画したプロセス】

(1)まず「日本一の地震計メーカー」になる
(手法)

- ① 官公庁需要に強い同業社のM&A
= 途上
- ② インフラ需要開拓
= **災害時ガス自動遮断装置開発**
- ③ ODA（海外開発援助）への参入
= **JICA案件参入**



(2)海外を含めた「総合防災企業」へ転換する
(手法)

M&Aをテコとし地震計ISO化という国際潮流に乗る戦略

防災BU（ビジネスユニット）は2022年9月期に発足しました。「日本一の地震計メーカー」を目指しており、インフラの需要開拓をしようと、災害時ガス弁自動遮断装置も開発し、すでにリリースしています。現在、日本中のガス会社と交渉に入っています。

ODA（海外開発援助）としては、JICA案件でインドネシアの開発への協力も進めています。これらの取り組みの先に、海外を含めた、地震計だけではない「総合防災企業」へ転換を図っていきたいと考えています。

地震発生時のガス弁自動遮断用センサ【SW-5033】を日本中の200社超のガス会社向けに発売開始(2023年9月)

Measuring
Systems

メジャリングシステム

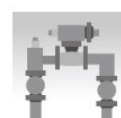
地震発生時のガス弁自動遮断用センサ【SW-5033】を
日本中の200社超のガス会社向けに発売開始(2023年9月)

地震報知用途に特化した業界最安値モデル登場



SW-5033

- ・他社比約4分の1の価格により
予算内で多量の設置が可能に
- ・日本初の耐衝撃性能1000G



ガスガバナなど



変電所など

地震計のISO世界規格化も追い風に



SW-54

- ・ISO規格化が2024年に発効予定
- ・JICA(国際協力機構)を通じた
インドネシアでの地震計ニーズ
確認調査を実施



インドネシア
上水道向け



アジア商業施設
向け

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

≫ 国内・海外ともにIMVの地震計が今後活躍する案件が多数

24

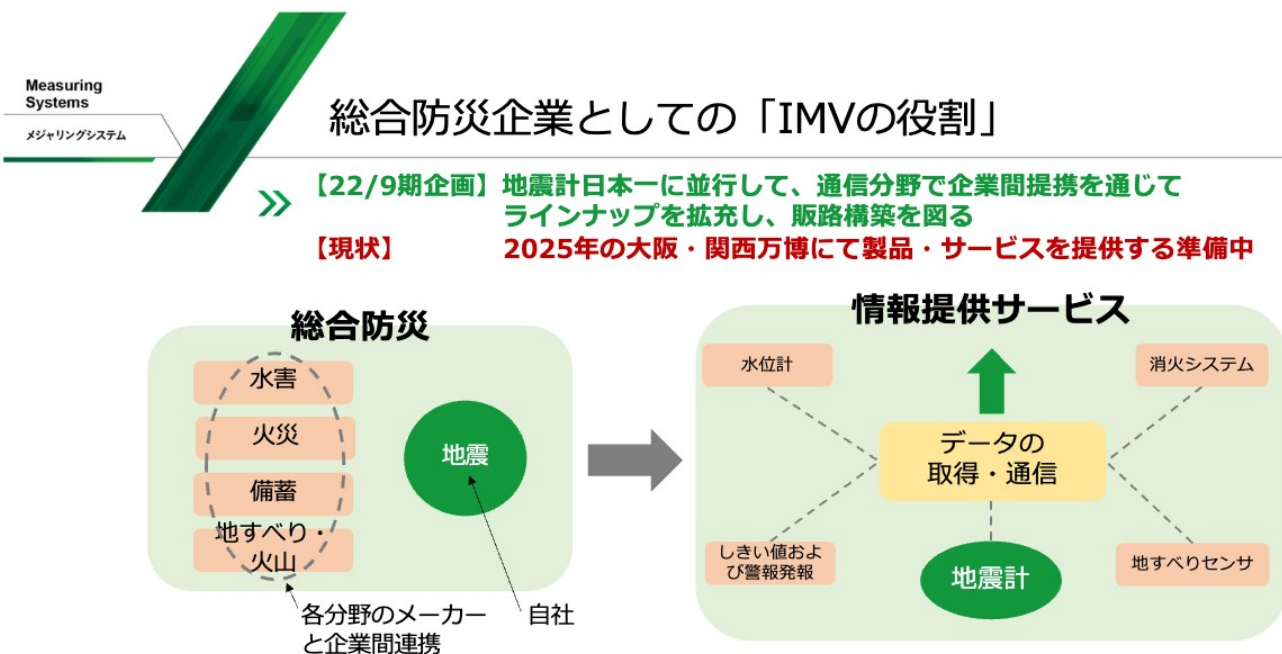
先ほどお伝えした災害時ガス弁自動遮断装置についてご説明します。

当社は非常に安価で耐衝撃性能が高い製品を開発しました。これは、みなさまが今つけているもののリプレイスにも非常に魅力があると考え、今後伸びていくものと期待しています。

同時に、我々はスマートシティに向けたISO規格化にも携わっています。この規格は2024年に発効予定です。先ほど触れたJICAを通じたインドネシアの事業も展開しておりますので、今後アジアを中心に我々の地震計の導入率を上げていきたいと考えています。

以前より、フィリピン・マニラなどのアジア商業施設向けには導入実績はあったのですが、今後インドネシアや東南アジアへも、新たに我々の販路を広げていく方針です。

総合防災企業としての「IMVの役割」



これらの製品を揃えたうえで、そこから得たデータを通信でつないで人々に危険を知らせる「**情報提供サービス**」を付加価値とした防災企業を目指す。

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

25

総合防災についてご説明します。総合防災には、我々が扱っている地震以外に、水害、火災、備蓄、地すべり・火山などがあります。地震に対しての地震計があるのと同様に、諸々の災害に対しても防災用の装置が必要です。

そのような装置を我々が開発していくのか、提携していくのかはともかくとして、データの取得・通信を統合し、情報提供サービスを構築できないかと考えています。すでに、いろいろなお客さまと話を進めています。

まずは2025年の大阪・関西万博で、我々の製品・サービスを提供する予定であり、すでに協賛契約を締結しています。通信が遮断される可能性を想定し、アイコム社と共同で製品開発を行い、感知した地震情報を、衛星通信を使って遮断されることなく提供できるよう、準備を進めています。

予知保全BUを発足し振動予知保全に参入

Measuring
Systems

メジャリングシステム

予知保全BUを発足し振動予知保全に参入

》 FA業界進出への足掛かり…「振動予知保全」の市場づくりへの取り組み

【22/9期に企画したプロセス】
長期でFA市場に本格参入する為、
三菱電機の「**機器パートナー**」というポジションで営業開拓

(手法と結果)

* 予知保全BUはゼロからの起業だが、物流機器業界を中心に
546件の引き合いと25件のトライアル受注を獲得。
その中には大手企業も多く24/9期につなげる

(24/9期への展望)

* 振動予知保全の問題点は【現場でのしきい値設定】
→振動予知保全のしきい値設定を「ティーチイン方式」（FAの現場では主流）
で簡単に出来る世界初の新製品【**VDユニット**】を来期に発売予定



予知保全についてです。こちらは、以前から三菱電機の「機器パートナー」というポジションで営業開拓を進めています。

事業自体が立ち上がりからということで厳しかったのですが、25件のトライアル受注は獲得しています。トライアルの中で、予知保全が使えるかどうかを検証していきたいと考えています。

また、振動予知保全のしきい値設定を簡単にできる補助的な装置を開発しました。使いやすさを追求した予知保全の装置を提供していこうと、新しく展開している状況です。

試験・認証関連のワンストップサービスの提供①

Test & Solution Service

テスト&ソリューションサービス

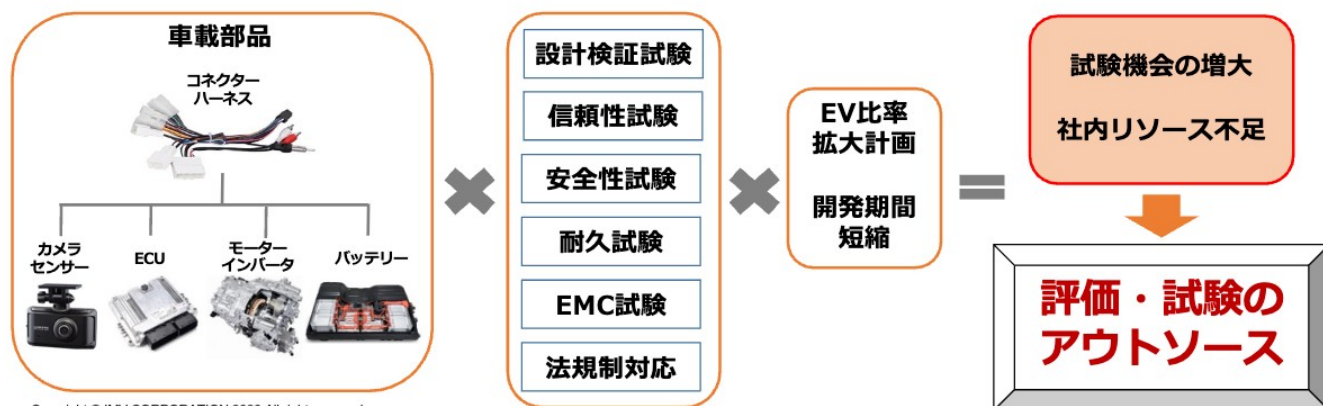
試験・認証関連のワンストップサービスの提供①

≫ 増大するEV試験需要への対応並びに範囲の拡大

EV/HEVの普及に伴い主要部品の様々な試験需要がさらに増加傾向

*主要部品：バッテリー、モーター、インバーター、BMS、強電ハーネス

➡設計検証から量産チェックの工程のフェーズにあった試験ならびに検証のサービスを提供



28

テストラボについてです。

EVの主要部品であるコネクタ、ハーネス、ECU、モーターインバータ、バッテリーといったものに我々の提供できるサービスを拡充していこうと考え、振動試験のみならず、他のものにも取り組んでいこうと、EV関係の販路を広げてきました。

EV比率の拡大において、開発期間の短縮はお客さまにとって重要な命題となっています。その中で、試験機会が非常に増大しています。例えば、社内のリソースが足りないぐらいになってきているため、EV関連の試験評価ができる方がいれば、ぜひ紹介してほしいと言われるぐらいです。

試験・認証関連のワンストップサービスの提供②

Test & Solution Service

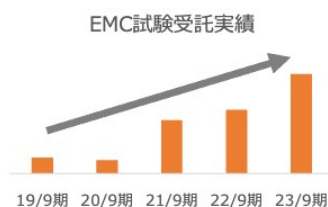
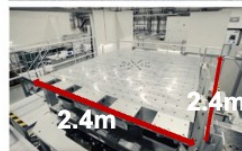
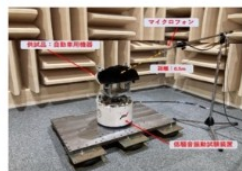
テスト&ソリューションサービス

試験・認証関連のワンストップサービスの提供②

≫ 総合的な評価・試験だけではない法規・技術コンサルティング
ならびに認証取得サポートをワンストップで提供



認証取得サポート
法規・技術コンサルティング



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

29

試験・認証関連のワンストップサービスの提供について、簡単にご説明します。

当社は温湿度を加えたり、振動・衝撃を加えたりする試験や、電波のノイズを発生させる・受ける、そのようなものに強いかを調べるEMC試験を実施しています。また、ガスの腐食や塩水の腐食で傷むかどうかを調べる腐食試験も実施しています。

そして、EV化によって需要が増えてくるであろう、車内の騒音をよりいっそう厳しくチェックする異音試験や安全性試験などを、認証も含めてトータルで我々がサポートできる体制を整えています。

試験・認証関連のワンストップサービスの提供③

Test & Solution
Service

テスト&ソリューション
サービス

試験・認証関連のワンストップサービスの提供③

≫ 総合的な評価・試験だけではない法規・技術コンサルティング
ならびに認証取得サポートをワンストップで提供

海上機器認証の為に試験サービス(船級協会並びに欧州MED)

鉄道機器認証の為に試験サービス(国内、国外規格対応)

欧州CEマーキングの為に試験サービス(あらゆる分野、カテゴリー)

韓国KCマークの為に試験サービス(産業機器)

無線機器の世界各国認証代行(Wi-Fi, BT, 4G, 5G, Rader, etc..)

各国各種分野の法規制調査

製品に関わる全ての
試験並びに認証関連
をサポート

我々は、認証取得サポートもワンストップで提供しています。まず、海上機器認証のための試験サービスはすでに始まっています。鉄道機器認証のための試験サービスも行っています。欧州CEマーキングのための試験サービス、韓国KCマークのための試験サービスも実施しています。

進行期において、TSSの事業本部長を社外から招へいしたのですが、新たに就任した事業本部長は認証ビジネス及びゲストハウスビジネスに長年かかわってきた経験豊富な人間ですので、認証サービスをこれを機に広げていきたいと考えました。

「製品に関わる全ての試験並びに認証関連をサポート」とスライドに記載のとおり、受託試験においては「振動」という概念を重要視していません。要は、お客様の製品がEVなのか宇宙関連のものなのか、その他諸々のものなのか。そのようなものをどのように試験評価・認証していくのかを考えています。

民間宇宙開発の試験需要増加への対応と範囲の拡大

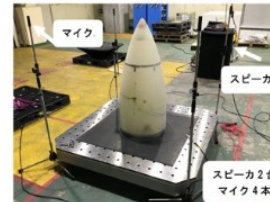
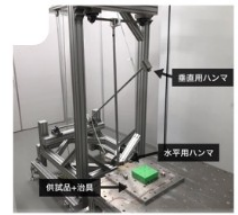
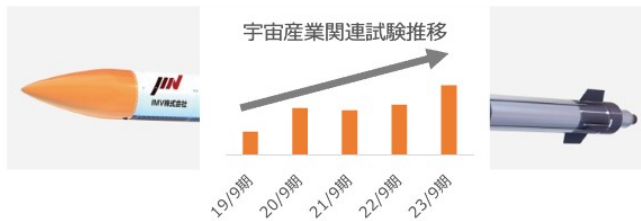
Test & Solution
Service

テスト&ソリューション
サービス

民間宇宙開発の試験需要増加への対応と範囲の拡大

≫ 総合的な評価・試験だけではない法規・技術コンサルティング
ならびに認証取得サポートをワンストップで提供

民間ロケット打ち上げに向けた宇宙関連機器の開発が活発化する中、
宇宙関連試験の実績をもとに、振動・衝撃・音響に関する試験・測定の実施
及び試験方法のコンサルティングの提供機会が増加



2022年1月：インターステラテクノロジズ株式会社に出資

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

31

民間宇宙開発の試験需要増加への対応と範囲の拡大についてです。今後、さまざまな分野で宇宙関連の技術が進んでいきます。この機運を受けてSBIRで多くの企業が多額の補助金を受け取っています。我々は2022年1月に、インターステラテクノロジズ社に出資していますが、こちらの会社も20億円の補助金を受け取ることができました。

その中で、各種宇宙ベンチャーさま、JAXAさまは、非常に活発に活動しています。機器の購入や技術支援の面で非常によい話をいただいています。

先ほどお伝えしたように、振動試験だけではなく多くの試験を進めており、非常に嬉しい悲鳴ですが、話が多くてエンジニアが足りない状態です。こちらの分野に関しても、人材を広く集めていかなければならないと思っています。

ただし、宇宙ビジネス、宇宙関連事業は国内で今後大きく成長していかなければなりません。また成長していくものと期待しています。ここにも重点的に投資をしていこうと考えています。

電池における総合評価試験&ソリューション サービス開始①

Test & Solution
Service

テスト&ソリューション
サービス

電池における総合評価試験 &ソリューション サービス開始①

2024年 4月

IMV高度試験センター（山梨県上野原市）はEV等の電池を対象とした

総合評価試験&ソリューション

サービスを開始

信頼性評価試験受託➡**信頼性評価一括サポート事業へ**

[Liバッテリーパック、FCユニット、電動パワートレイン]

- ◎機能試験の一括対応…環境試験・振動試験・衝撃試験・多軸多点試験
- ◎波形解析（損傷度比較 etc…）・試験条件提示

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

32

先日IRを行った、山梨県上野原市にあるIMV高度試験センターについてです。バッテリーの総合評価試験とソリューションサービスを開始しました。

こちらの何が新しいかと言いますと、先ほどご説明した全試験を行うのと同じではないかと受け止められがちですが、信頼性評価の試験だけではなく評価までも含めてIMVが手掛けるということです。

すでに数社と話を進めています。我々はEVに関して日本でもおそらく有数の試験評価機関となっています。その信頼のもと信頼性評価の一括サポートをまるごとお任せいただけるフェーズになっています。

電池における総合評価試験&ソリューション サービス開始②

Test & Solution
Service

テスト&ソリューション
サービス

電池における総合評価試験 &ソリューション サービス開始②

総投資
3億円



- ◎機能試験の一括対応
 - ・環境試験・振動試験
 - ・衝撃試験・多軸多点試験
- ◎試験の前工程、後工程にも対応
- ◎波形解析（損傷度比較 etc…）
- ◎試験条件提示などの技術サービス

売上計画
初年度
1億円
3年目
3億円

信頼性評価一括サポート事業の総投資額は3億円で、売上計画は初年度に1億円、3年目に3億円を計画しています。これは社内にとって大きな話ですが、みなさまにとっては「3億円か」という受け止めになると考えています。しかし、私はこれを第1弾だと考えています。

このバッテリーの評価事業に関しては、もし今後の我々、もしくはお客さまの、EVに対する感覚がよりいっそう伸びてくるのであれば、第2弾というかたちで、この取り組みを拡充していきます。

DSS 事業の受注トピックス①

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS 事業の受注トピックス①

≫ 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

国策を受け、宇宙関連企業で多額の補助金

QPS研究所様、アクセルスペース様、Pale Blue様 より試験装置受注（宇宙業界向け）



【株式会社QPS研究所様】



【株式会社アクセルスペース様】



【株式会社Pale Blue様】

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

35

DSS事業の受注トピックス1つ目として、振動試験装置の販売についてです。SBIRで多くの補助金が出ている中で、宇宙業界で振動試験装置を多く購入いただいています。代表的なものとしてQPS研究所さま、アクセルスペースさま、Pale Blueさまなどです。

先ほどお話ししたように、インターステラテクノロジズ社に出資した関係もあって、一部の方には宇宙関連に強い会社だというイメージを持っていただいているようで、ほぼすべての宇宙関連企業さまから話をいただいて、非常にありがたいことです。

装置をご購入いただけることは非常にありがたいのですが、私から見ると、各企業の方に保有していただくよりは、例えば1ヶ所に試験関連の設備を集中して投資して、そこにみなさまが使えるような機関を作っても、おもしろいのではないのかと最近思っています。その実現も私の新しい夢のようなものとなっています。

DSS 事業の受注トピックス②

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS 事業の受注トピックス②

≫ 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

EV評価用振動試験装置導入

ベトナム VinFast様 よりEVバッテリー評価用

大型振動試験装置を受注しお客様が運用を開始しました！

ベトナムテストラボにて、VinFast様より
さまざまな受託試験をご依頼いただき、良い関係を構築してきました。
この度、EVバッテリー評価用として、
大型振動試験装置を導入させていただきました。

補足情報：VinFast様

米国ナスダック市場への上場後数日間では、

瞬間最大で**世界の自動車メーカー時価総額**

ランキングで第3位にまで評価されました。

※EV専門メーカーでは**テスラ社に次いで第2位**

※当時、1位：テスラ、2位：トヨタ自動車

3位：VinFast



©VinFast

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

36

DSS事業の受注トピックス2つ目です。日本ではあまり知名度がありませんが、ベトナムにVinFastさまという自動車メーカーがあり、6年ほど前に設立されています。はじめはガソリンエンジン車を作っていたのですが、今は完全にEV専門メーカーとなっています。

スライドにあるように、世界の自動車メーカー時価総額として、上場時にテスラ、トヨタ自動車に次いで第3位というかたちになっています。今でいうとBYDが入ってくると思います。垂直立ち上げのメーカーとして事業を拡大されていて、そことも非常によい関係を築いています。我々の大型振動試験装置を購入されていますし、各種技術支援も実施提案している状態です。

DSS 事業の新しい挑戦

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS 事業の新しい挑戦

≫ 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

1. **レンゴー様** と輸送振動試験における時間短縮方法の検証（継続）
2. **某自動車メーカー様** にIMVコンシェルジュを新規導入

現在手掛けているさまざまな事業について、ご説明します。まずレンゴーさまと、輸送振動試験における時間短縮方法の検証ということで、共同で研究を行っています。

某自動車メーカーさまに、IMVコンシェルジュという、我々の自己診断機能の装置を新規導入しています。

DSS 事業の新しい挑戦①

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS 事業の新しい挑戦①

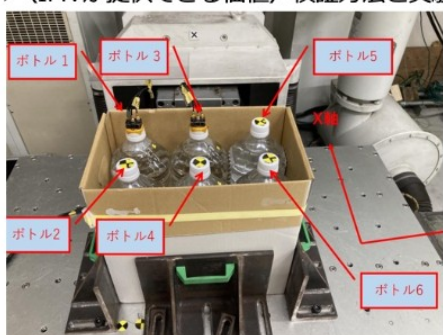
▶▶ お客様とつながる（課題解決）：『レンゴー様との取組み』（22/9期共同研究の継続）

◆ 輸送振動試験における課題

= 『1軸ずつ加振するので、試験時間が長い。3軸同時試験で時間短縮を図れないか？』

➔ 1年間共同研究を行い、一定の検証結果を得ることができた。反面、追加検証のためのデータ取得が必要結果、もう一年共同研究を行い検証を深める取組みを行うこととなった

➔ (IMVが提供できる価値) 検証方法と実験結果、検証結果の提供



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

※実際に輸送した時の振動データを取得し、加振実験を行い検証を深める



【砂利道】



【目の粗い舗装道路、段差】

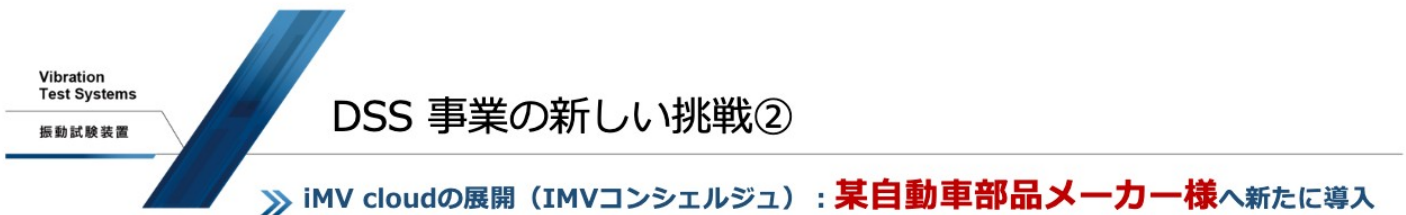
38

レンゴーさまとの輸送振動試験の取組みです。輸送振動の試験において、1軸ずつ加振するので、試験時間が長い。3軸同時試験で時間短縮を図れないか、という話がありました。

我々は、ミシガン州立大学という、輸送振動試験に権威がある大学と関係を築いています。レンゴーさまへも、ミシガン州立大学の先生に来ていただき講義を行っていただきました。

また、実際の道路の振動を再現して、1軸と3軸とでどう違うのかを要因分析し、どのような条件であれば時間短縮をしても問題がないのかについて検証を行うなど、さまざまなかたちで共同研究を進めています。

DSS 事業の新しい挑戦②



➔ 振動試験装置の状態をデータ蓄積し、AI診断により適切な状態で試験を行えるようアドバイス



【IMVコンシェルジュの機能】

- ・試験が正しく行えているか？
- ・振動試験装置の状態監視
- ・メンテナンス時期のお知らせ
- ・供試品の取付け方法アドバイス
- ・振動試験実施可否の判断
- ・etc

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

39

IMVコンシェルジュです。部品が傷み始める前に、アラームを鳴らして、メンテナンス時期を知らせるなどの機能は、他の業界では目新しくないのかもしれませんが、振動試験機業界ではまだないため、当社が取り組んでいます。

我々は振動試験機メーカーであり、振動試験機の数を持っていないので、きちんとセンサーを設置すれば、自己診断による状態監視ができます。

したがって、長時間試験を行う前に、壊れたり傷んでいたりする部品を交換できれば、お客さまの利便性がより上がると考えています。

DSS/TSS 事業の新しい挑戦

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS/TSS 事業の新しい挑戦

➤ 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

- ① **某自動車メーカー様** と電池評価試験棟建築についてのコンサルティング契約締結
- ② **某自動車メーカー様** の電池評価試験をすべてIMVで行うための訓練開始
- ③ **トヨタ自動車様** へiMV cloudサービスを導入するためのセキュリティ診断をパス
* "iMV cloud"で記述
- ④ **テストラボユーザー様** 向け、iMV cloudサービスを開始
* "iMV cloud"で記述

このスライドの2番目の電池評価の訓練については、先ほどお伝えしたように、信頼性評価一括サポート事業を行おうとしています。その評価の仕方を某自動車さまメーカーに学びに行くという取り組みを行っています。

4番目のテストラボユーザーさま向けについて、「iMV cloud」サービスを開始しました。「iMV cloud」がお客様の振動試験装置だけではなく、我々のテストラボのスタッフも利用できるサービスになっています。

DSS/TSS 事業の新しい挑戦①

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS/TSS 事業の新しい挑戦①

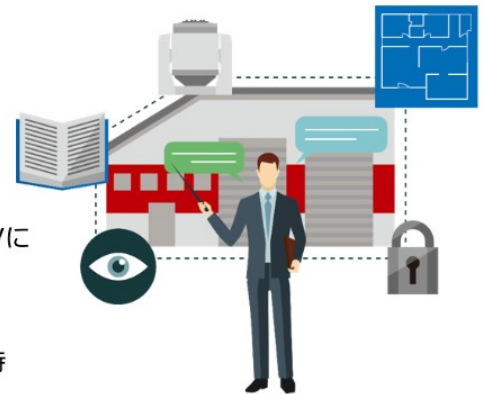
▶▶ お客様とつながる（課題解決）：『**某自動車メーカー様**とEV用バッテリーの取組み』

◆EV用バッテリー評価における新たな取組み

- ➔ これまで…お客様のバッテリーをお預かりして評価（主に温度・湿度・振動・衝撃試験）を行ってきた
- ➔ 新たな取組み

バッテリー評価棟を新設する某自動車メーカー様より、
評価試験装置・試験棟等についてIMVへアドバイザーの依頼
→試験装置以外の法規等についてもアドバイスすることとなり、
コンサルティング契約を締結

→お客様にとっては、バッテリー評価において多数の実績あるIMVに
評価棟のコンサルティングを任せることで、
早期に評価棟の建設を進めることができる。
また、IMVが保有している知見を共有することで、
今後のバッテリー開発においても早期に検証を行えることに期待



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

41

このスライドの取組みは私の非常に好きな取組みのひとつです。我々は長年振動試験機メーカーとしてビジネスをしていて、それなりに安定して商売がありますので、新しいことに挑戦するのが億劫になりがちな企業風土がありました。しかし、そのままではよくないということで、社長就任以来、何か新しいことに挑戦していきたいと考えており、中期経営計画のキーワードで「単なるモノ売りビジネスからの脱却」と掲げています。その中で、社内でもいろいろなことに取り組んでいますが、新たな取組みとして、某自動車メーカーさまから「EVに本格参入したいが、バッテリー評価の経験が少ないためサポートしてほしい」という要望がありました。

バッテリー評価棟を新設する自動車メーカーさまに、どのような評価装置を置けばいいのか、どのように評価すればいいかなども含めて、試験装置以外の法規等についてもアドバイスすることとなり、コンサルティング契約を締結しました。

コンサルティング費用として大きな金額ををいただくとは考えていませんが、コンサルティング契約を締結することで、お客さまとより深く関係を構築でき、今後も継続的にビジネスを展開できると考えています。

幸い我々は、自分たちでバッテリー評価の試験棟を保有しています。また、我々の振動試験装置を納品した、EVを評価するテストラボともよい関係を築いていますので、ノウハウを社内に多く蓄積してきました。そのノウハウをもって、新しいこのようなコンサルティングにも参入したいと考えています。

先ほどお話ししたように、バッテリーの試験評価に関して、日本国内においてはIMVが一番だと認識いただいていると自負しています。

DSS/TSS 事業の新しい挑戦②



DSS/TSS 事業の新しい挑戦②

≫ お客様とつながる（課題解決）：『**某自動車メーカー様**とEV用バッテリーの取組み』

◆EV用バッテリー評価における新たな取組み

- ➔ これまで…お客様のバッテリーをお預かりして評価（主に温度・湿度・振動・衝撃試験）を行ってきた
- ➔ 新たな取組み

某自動車メーカー様より、バッテリー評価だけではなく、バッテリーの分解・解析等もIMVに任せたいという相談
→某自動車メーカー様より**特別指導**

→お客様にとっては、すべてIMVに任せられることができるので、他の開発に注力できることとなります。



バッテリーの評価だけではなく、バッテリーの分解・解析までIMVに任せたいという話が出てきていますので、より必要とされてきているのではないかと考えています。



iMV cloudの必要性

>> 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

	IMVと試験現場の課題	iMV cloudがもたらすもの
IMV	<ul style="list-style-type: none">✓ 国内振動試験装置市場の成熟化✓ 顧客要望にリーチするためのデータ収集不足	<ul style="list-style-type: none">✓ 利便性向上によるお客様の“ファン化”✓ クラウドに蓄積されたビックデータを新製品開発やお客様サポートに活用
試験現場 (お客様)	<ul style="list-style-type: none">✓ 少子高齢化による実務者の減少✓ 技術伝承不足による技術力の低下✓ 試験効率化・高度化への要求	<ul style="list-style-type: none">✓ データ一元管理による技術伝承サポート✓ 各種機能による試験業務効率化を実現

「iMV cloud」についてです。お客さまから「実務者が減ってきた」「技術継承ができておらず、エンジニアの技術力が下がっている」「試験の効率化・高度化を図りたい」といったニーズが非常に多くあります。ですので、「まずは『iMV cloud』でデータを蓄積しましょうか」と伝えています。

iMV cloud利用イメージ



iMV cloud利用イメージ

>> 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』



① データ自動アップロード

- ✓ 稼働状況
- ✓ テスト定義、テスト結果

② 各種クラウド機能

- ✓ 試験稼働状況の遠隔監視
- ✓ 試験条件、試験結果の確認
- ✓ 関連ファイルのアップロード
- ✓ 権限管理、プロジェクト管理

③ 遠隔サポート

- ✓ IMVスタッフが遠隔から振動試験をサポート

データの自動アップロードは、試験結果が試験終了とともに「iMV cloud」に自動でアップロードされます。

また、各種クラウド機能として、試験の稼働状況の遠隔監視、試験条件、試験結果の確認、関連ファイルのアップロードや権限管理ができます。

そして、IMVのメンバーが遠隔でサポートします。これは先ほどの自己診断とは別です。予知保全をするわけではないのですが、どのような稼働状況か遠隔で確認し、試験をサポートすることができます。

iMV cloud - DSS/TSS 事業の新しい挑戦③

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

iMV cloud - DSS/TSS 事業の新しい挑戦③

》 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

iMV cloudを導入済のお客様から**セキュリティ及び改ざん防止機能**を評価いただいています

✓ 強固なセキュリティ

- ・お客様の社内ネットワークから完全に分離
- ・強固なセキュリティ設計に加えて年1回のセキュリティ診断を受診

iMV cloudは**トヨタ自動車様**のセキュリティ診断をパスしました！

✓ 試験結果データの改ざん防止機能

- ・試験結果の自動アップロード機能がデータの完全性※を担保
- ※完全性とはデータを最新かつ正しい状態で維持する事、データを不正な改ざん等から保護する事などをいいます。



「iMV cloud」を導入することの利点として、試験結果のデータの改ざん防止ができます。いろいろなニュースの中で試験結果が改ざんされたという話を聞いたことがあると思います。「iMV cloud」は試験結果が自動でアップロードされますので、試験結果データの改ざんを防止することができます。これは今の世の中のニーズに非常にマッチしていると思います。

このようなシステムはセキュリティが高いことが非常に重要です。「iMV cloud」は、セキュリティに対する感度が高いと言われているトヨタ自動車さまのセキュリティ診断をパスしましたので、今後も各メーカーにも「iMV cloud」を広げていきたいと考えています。

iMV cloud - DSS/TSS 事業の新しい挑戦④

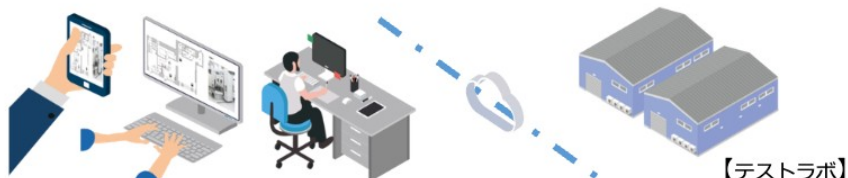
iMV cloud - DSS/TSS 事業の新しい挑戦④

》 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

テストラボユーザー様のご要望にお応えするために
ラボユーザー向けiMV cloudサービスを開始

試験品をセットしたときの状況を確認したい	これまでは写真撮影してメール送信していたため、手間と時間がかかっていた
試験の実施状況を遠隔地より確認したい	これまでは試験立ち合いのため、交通費と時間がかかっていた
試験レポートを一元管理したい	試験担当者が変わると、以前の試験情報がわからない。探すための手間と時間がかかっていた

すべてのご要望に
iMV cloudでお応えします



先ほどもお伝えしたように、テストラボユーザーさまにも使っていただくことができます。例えば、お客さま所有の試験装置で行った試験と、我々のテストラボを使っていたいただいた試験を一元管理できます。

また、テストラボに足を運ばなくても、どのような試験がどのような状況で行われているかを、遠隔で把握することができます。

iMV cloudの連携協議



iMV cloudの連携協議

>> 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

振動試験装置周辺機器メーカー（数社）とクラウドサービス提供についての連携協議を開始



「iMV cloud」は我々の社内製品に対するサービスですが、他のメーカーとやりとりしてもいいのではないかと考えています。振動試験装置周辺機器メーカーなど、日本国内で試験に関わるメーカーさまに広く提案していきたいと思っています。試験機業界を底上げすることによって、お客さまの利便性も上がるのではないかと考えています。

提携についてはすでに数社とお話ししていますし、今後、新しく提案する機会も増えてきています。



iMV cloudの今後の展望

>> 環境試験ソリューション戦略：『お客様とつながる（課題解決）』

強固なセキュリティを維持しながらサービスを発展



当社の試験ソリューションを、我々とお客さまだけでなく、メーカー同士でつながり、提携することによって、より広さと深さが担保できるようなサービスにしていきたいと思っています。

2023年9月期の結果

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

2023年9月期の結果



受注の状況

受注実績

IMV-EU 約30億円

IMV-USA 約12億円



防衛・航空宇宙業界からの受注

- ・ K-seriesの大型装置を中心にA74や多軸装置等も受注増
- ・ **EV関連**に続き
防衛・宇宙衛星が海外トレンド

<当期実績顧客>

- ・ EV関連大手テストハウス (USA)
- ・ 装備品関連 (EU)
- ・ 衛星通信 (USA)
- ・ ロケット (USA)
- ・ 航空機エンジン (USA)
- ・ 防衛関連施設 (USA)



短納期戦略

- ・ 大型機種(K350, K200, K125LS)を計画生産
- ・ Aシリーズ(A74, A30)を中心に常に在庫化
- ・ 他社製(UD T-1000用)アンプの在庫開始



サービスビジネスへの注力

受注実績

IMV-EU 約2.8億円

IMV-USA 約1.25億

UK 1g Dynamicsと1g Americaとで協力
米国内大手顧客からの点検・修理が伸びる

<当期 米国内サービス提供顧客>

- ・ 大手テストハウス (例: Element/NTS社)
- ・ NASA関連
- ・ 大手航空機製造

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

51

DSSの欧米での受注状況について、IMV-EUは30億円、IMV-USAは12億円、合わせて42億円です。これは日本のマーケットを凌駕しています。今後、装置購入に関しては日本のお客さまも変わってくると思っていますが、現時点では欧米のほうが多く注文いただいています。

特に大型装置が多く、EV関連に続き、最近では防衛・宇宙衛星が海外でのトレンドとなっています。日本も遅ればせながら、そのような状況になっていますが、海外のほうが早かったということです。

実績として、大手テストハウスや装備品関連、衛星通信、ロケット、航空機エンジン、防衛関連施設などで、我々の装置を広く使っていただいています。

大型装置ですので、納期が非常に問題になってきますが、計画生産を進めています。先ほど、棚卸資産が増えてきているとお伝えしましたが、このような部分も影響しています。

お客さまにいかに短期間で納入するかが命題になっており、多くの装置を計画生産し、在庫化を進めています。

この戦略が功を奏して他社に競り勝っているところもあります。計画生産、在庫化と受注、販売のバランスを取りながら、ビジネスを展開していきます。

また、装置を販売する際には、サービスやメンテナンスも非常に大事になってきます。ヨーロッパは約2.8億円、USは約1.25億円ですが、どんどん広げていきたいと考えています。

国内においては、サービスの事業は急成長しており、毎年最高売上を更新していますので、早晩海外でのサービスは何倍にも成長するものと考えています。

まずは自社製品のほか、他社製品のサービスに非常に力を入れています。IMV-EU、IMV-USAは、我々の自社製品のサービスだけを主に行っているのですが、UKとアメリカに拠点を持つUK 1g Dynamicsという子会社では、他社製品のサービスを始めています。

他社製品のサービスを行うにあたり、いくつかの利点がありますが、最大のメリットは、我々がメンテナンスしていると、次に装置を更新する時に誘導しやすいという点にあると考えており、他社製品のサービスにも注力しています。

残念ながら、日本の他社製品のサービスは受注できていませんが、欧米においては、他社製品のサービスも多く行っていますので、自社製品の販売にもつなげていきたいと考えています。

米国内のサービス提供顧客としては、世界有数のテストハウスのElement社やNTS社、航空宇宙関連ではNASA、大手航空機製造メーカーなどがあります。

グローバル市場における大型装置の需要増への対応



SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

グローバル市場における大型装置の需要増への対応

EV関連、防衛・航空宇宙業界における大型装置の需要が増大

特に防衛・航空宇宙業界は昨期以上に需要増が予測される。
弊社主力大型機種であるK350, K200, K125LSを中心に計画生産していく。



米国大手テストハウス社（EV関連）への納入実績
（左記はIMV最大機種であるK350の納入時の写真）

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

52

写真の奥にあるのは他社の装置で、手前が我々の装置です。35トンという我々最大の装置を、アメリカの大手テストハウスに納入しました。

余談ですがこのテストハウスの真横に、別の会社のテストハウスがあるのですが、そこにも同じ装置と少し小さい装置の2台の、計3台を納入しました。お客さま同士がそのことを知らないのも名称は隠しているのですが、そのぐらい我々の装置がテストハウスで多く使われている状況になってきました。

米国におけるサービスビジネスを加速

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

米国におけるサービスビジネスを加速

2023年5月 米国デトロイト地区に新たにサービスセンターを開設

- 米国内への納入実績増に対応するため現地アフターサポートの充実を図る
(日本人ベテランサービスマン駐在)
- パーツ輸送時間短縮のためにサービスセンター内に主要消耗品を在庫
- 他社製装置のメンテナンス可能なサービス社員を追加雇用



サービスセンター外観



主要パーツ常時在庫



現地エンジニアによる作業

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

53

スライドの写真は、先ほどお話しした、アメリカにおけるサービスビジネスです。今年5月に、デトロイト地区にサービスセンターを開設しています。

我々のベテランサービスマンである日本人スタッフ3人を送り込んで取り組んでいます。

IMV America 現地メンバー

IMV America 現地メンバー

IMV Americaメンバーが総勢12名となり、米国ビジネス拡大に対応する



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

54

スライドはイメージ写真です。先ほどお話ししたサービスセンターのスタッフが総勢12名になりました。3名から始めてすでに12名になっており、もう少し大きくなっていくと考えています。

経験のない若いエンジニアと、他社で長らくサービスをしていたエンジニアの混成で、チームとしての相乗効果が、少しずつ現れてきています。

以降のページにはAppendixを掲載していますので、参考までにご覧ください。

事業セグメント | 売上構成比

SECURE THE FUTURE
IMVが見守る未来

事業セグメント | 売上構成比

Business Segment



2023年9月期
売上高比率

Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

57

スライドは、売上構成比です。

国内拠点



国内拠点

Domestic bases

Osaka | 大阪



- ▶ 本社
- ▶ 大阪営業所
- ▶ 大阪デストラボ
- ▶ 大阪エンジニアリングサービス部

Uenohara | 上野原



- ▶ 上野原サイト
高度試験センター

Tokyo | 東京



- ▶ 東京営業所
- ▶ 東京エンジニアリングサービス部

Sagamihara | 相模原



- ▶ MESエンジニアリングサービス部
- ▶ 東京デストラボ

Nagoya | 名古屋



- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 名古屋デストラボ
- ▶ 名古屋エンジニアリングサービス部

Kasugai | 春日井



- ▶ 春日井デストラボ

Iruma | 入間



- ▶ 日本高度信頼性評価試験センター
e-TCJ
e-Test Centre Japan

国内子会社

- ▶ (株)振研
八王子市
- ▶ 日東精機(株)
大阪市西淀川区

国内拠点は今と大きく変わっていません。先ほど、バッテリーの試験評価を一括で行うとお伝えしたのは上野原市の拠点です。現在改装しているところで、それが先程お伝えした第1弾にあたるものです。

DSS 製品ラインアップ

Vibration
Test Systems

振動試験装置

DSS 製品ラインアップ

振動試験装置

従来より性能が向上したAシリーズはこれまで不可能だった試験を可能にします。また、省エネ装置や恒温恒湿槽なども提供しています。



水冷式大型振動試験装置

大型の振動試験機でありながら、水冷式を採用することにより、試験中の騒音を最小限に留め、試験環境の向上を実現した製品です。



振動制御器 K2+

ハードウェア・ソフトウェア全てを自社開発し、複雑な試験でも簡単に実施可能にします。



多軸多点振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



振動試験トータルシュミレーション

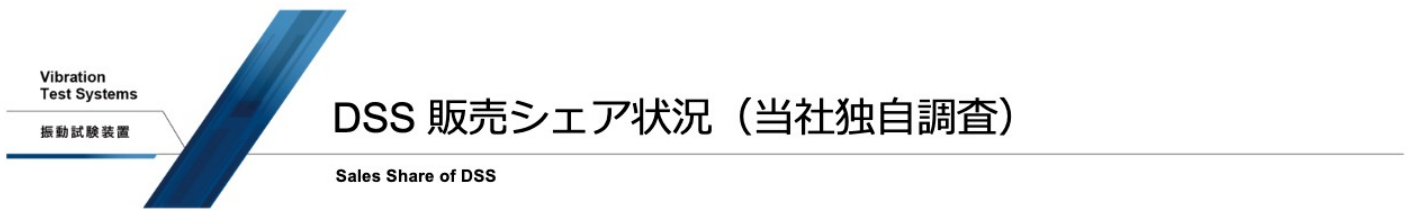
振動試験中の供試品の挙動を詳細に予測するシステムを導入し「計測」「シュミレーション」「治具製作」とすべてを内包した高付加価値なサービスを提供します。

小型振動試験装置、高周波振動試験装置

小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能な装置です。さらに、小型振動試験装置と恒温槽を組み合わせることで2k~10kHzまでの高周波の複合試験が可能な攻守は振動試験装置もあります。

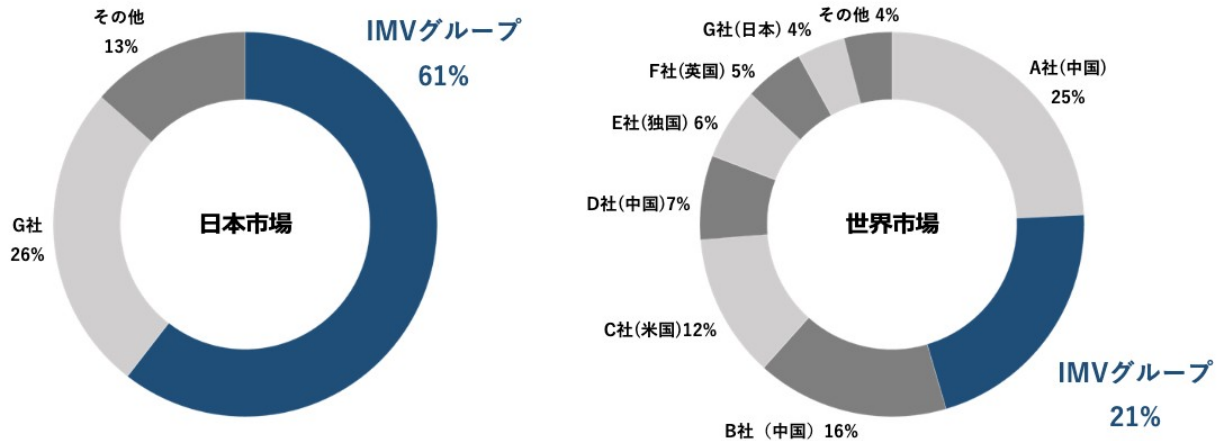
DSS製品のラインアップです。

DSS 販売シェア状況(当社独自調査)



DSS 販売シェア状況 (当社独自調査)

Sales Share of DSS



Copyright © IMV CORPORATION 2023 All right reserved.

61

試験装置の海外のシェア、国内のシェアについてよく聞かれるのですが、IMVグループの国内シェアは61パーセントです。一時期、「グローバルをとった。認知をとった」と言っていましたが、今は中国の会社に抜かれています。

我々は中国でも一部ビジネスをしていますが、いろいろなリスクもあるのでそこまで多くはありません。スライドに記載のA社は、基本的には中国国内とロシアで多くのビジネスを展開しています。中国のマーケットは非常に成長していますので、このグラフのようなかたちになっています。

ただし、当然日本では我々がトップシェアですし、ヨーロッパでもトップシェアをとっています。アメリカでもトップシェアを狙っていきたいと思っています。

私からの説明は以上です。本日はどうもありがとうございました。

Occurred on 2023-11-27, Published at 2023-12-06 15:10 ←

企業をフォローして通知を受け取る

IMV株式会社

7760・東証スタンダード・精密機器

フォロー

関連タグ

#決算説明会

ログミーファイナンスとは

ログ掲載のご案内

利用規約

プライバシーポリシー

お問い合わせ

採用情報

運営会社



Copyright © logmi All Rights Reserved.